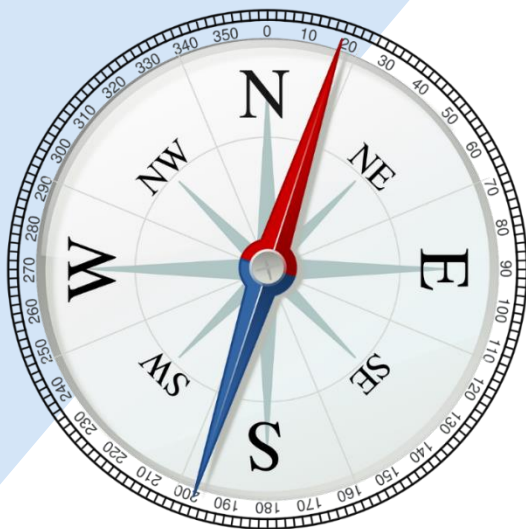


これからの大学入試

—お子様の伴走者であるために、今のうちから確認いただきたいこと—



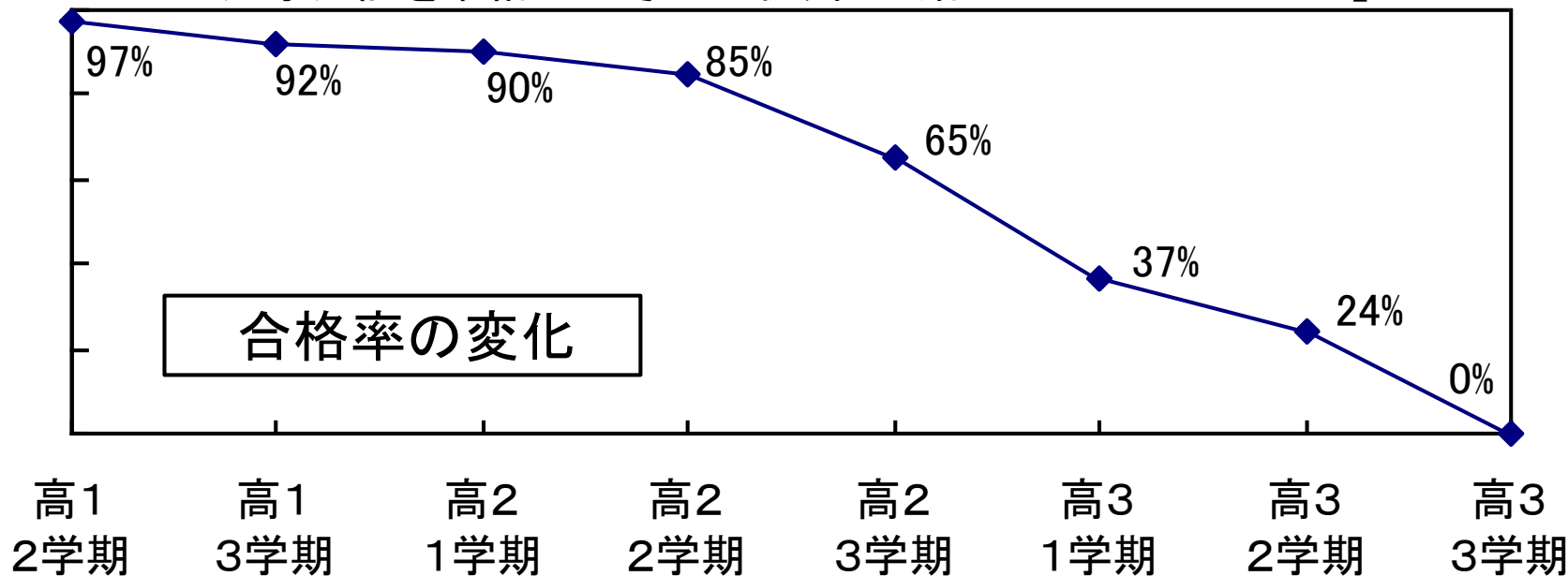
令和4年9月22日（木）
株式会社ベネッセコーポレーション 学校カンパニー
東日本教育支援推進部 大森 理史

次の数字は一体なにを表すものでしょう？

50戦47敗

A. _____

「大学入試を本格的に考えて取り組み始めたのはいつから？」



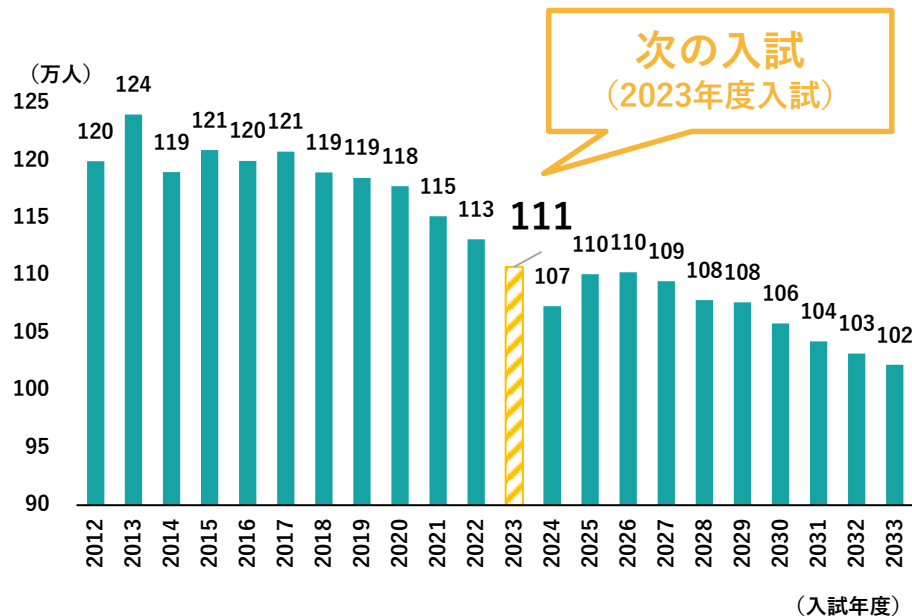


18歳人口は2021年度入試を境に減少期に入った

18歳人口の推移をみると、この6、7年は120万人前後で推移していたが、2021年度入試を境にして2024年度入試まで減少幅が大きくなる。現高校2年生が受験する2024年度入試では約107万人と予想され、2020年度入試を基準として約9%減少することになる。

次の2023年度入試では約111万人となり、前年度から約2万人減少する。一回り前の2020年度入試と比較すると、約7万人の減少となる。国立大の2022年度入試の募集人員が約9.5万人であることを考えると、減少幅の大きさがうかがえる。全体的に入試競争は緩和される傾向にあるといえよう。

18歳人口の推移



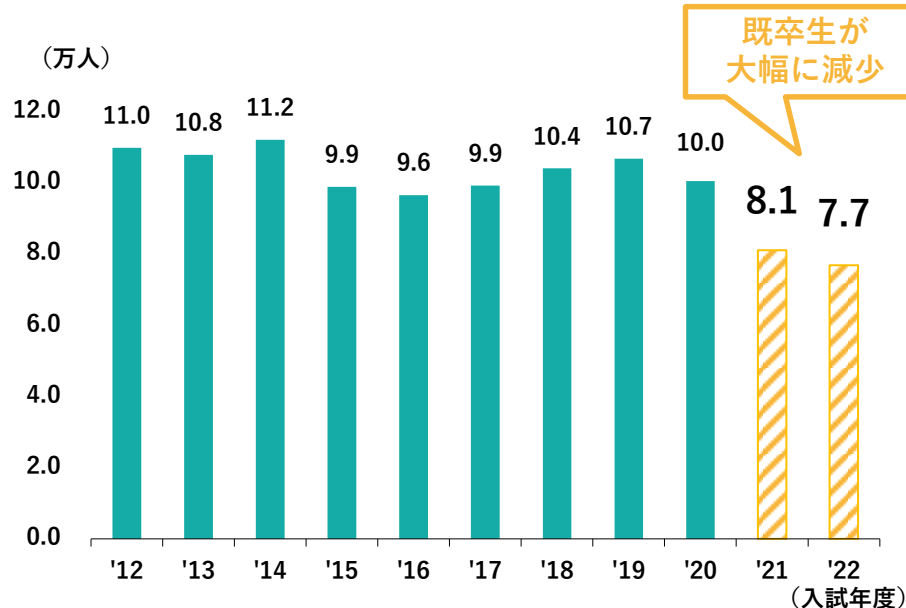
* 学校基本調査をもとに作成。



共通テスト導入を機に既卒生の減少が目立つ

2021年度入試に導入された大学入学共通テストでは移行措置がとられないこともあり、既卒生の志願者数が約2割の大幅な減少となった。これにより、現役生の合格者数が増加する傾向がみられ、2022年度入試でも既卒生が少ない状況が続くこととなった。先を見れば2025年度入試が新課程におけるはじめての入試となり、このタイミングでも既卒生は減少すると見込まれる。既卒生が増えにくい環境が続いていくこととなり、現役生中心の入試傾向は強まっていくと予想される。

共通テスト（センター試験）既卒生の志願状況



* 大学入試センター公表資料をもとに作成。



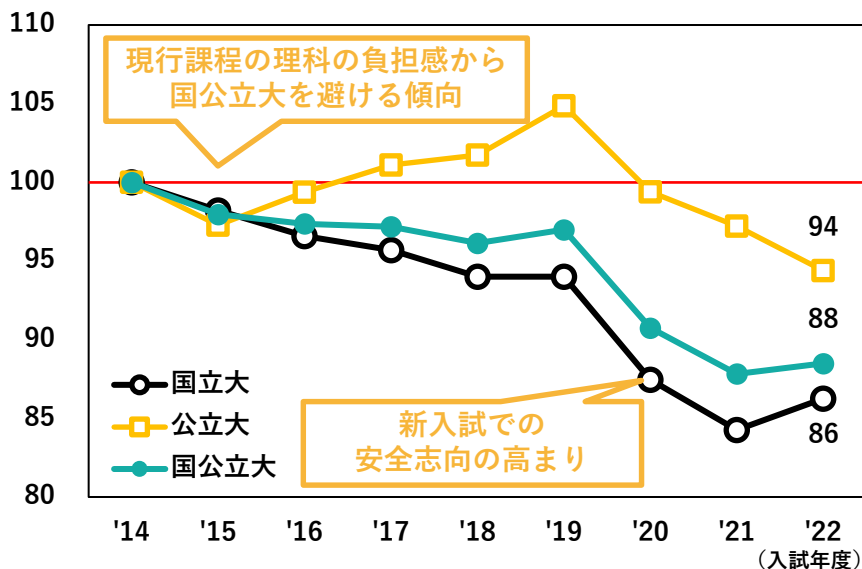
国立大の志願者数は 下げ止まりをみせる

2015年度入試から、数学・理科が先行して現行課程での実施となったが、理科の負担感の大きさから国立大を避ける傾向がみられはじめ、長らく国立大の志願者数の減少が続いてきた。さらに2021年度入試での共通テストの導入を機に、その前年および当年度には安全志向の高まりから国公立大の志願者数は大きく減少した。

しかし、直近の2022年度入試では国公立大の志願者数は対前年指数101と増加に転じた。これは共通テスト導入による安全志向が緩和された結果とみられ、長期的には減少傾向に変化はないものと考えられる。

国公立大の一般選抜の志願者推移

(対'14指数)



* 各年度5月中旬までに弊社で確認した情報をもとに集計。

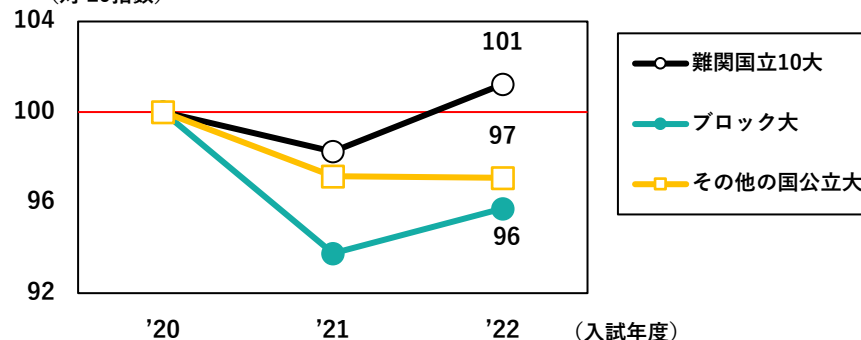


難関国立10大やブロック大では 安全志向の緩和がみられる

全体的には志願者数の減少が続く国公立大であるが、難関大においては安定した入試が展開されている。大学群別の志願者数の推移をみると、難関国立10大、ブロック大では対前年で志願者数が増加しているが、その他の国公立大では前年並となった。特に難関国立10大では共通テストが導入された2021年度入試における全体的な志願者数の減少の揺り戻しが顕著にみられ、志願者数は2020年度入試の水準まで戻っている。

大学群別の志願者数の変化

(対'20指数)



志願者数	'20	'21	'22
難関国立10大	68,810	67,613	69,654
ブロック大	71,632	67,162	68,580
その他の国公立大	299,123	290,640	290,423

* 各年度5月中旬までに弊社で確認した情報をもとに集計。

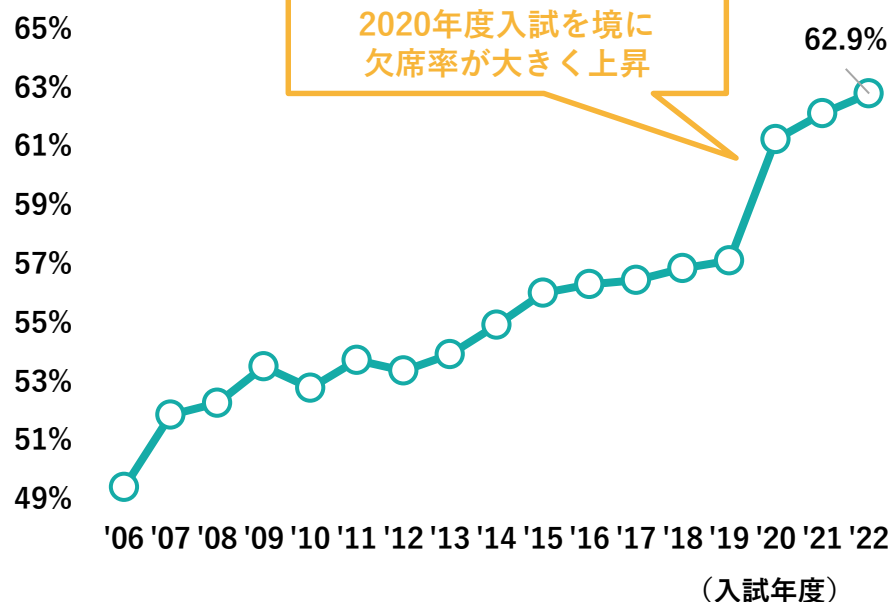
* ブロック大の21年度以前の値は、大阪市立大と大阪府立大のものを含む。



後期日程の欠席率は上昇が続く

国公立大の後期日程の欠席率の上昇は継続している。特に2020年度入試を機に欠席率が大きく上昇しており、60%を超える状況が継続している。後期日程の出願者のうち実際に受験するのは4割未満であり、後期日程まであきらめずに受験を続けることが合格につながりやすい環境となっている。

国公立大の後期日程欠席率の推移



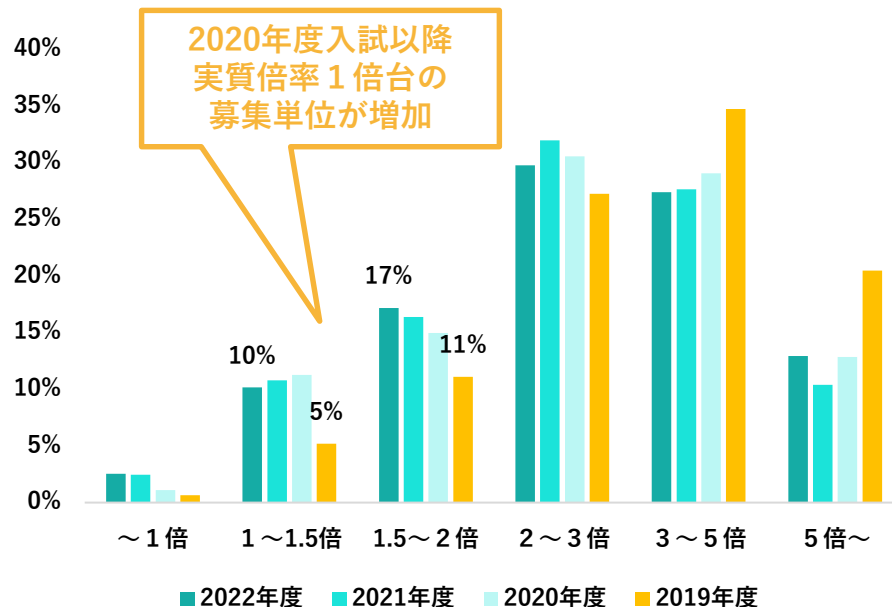
* 文部科学省『後期日程第1時限目の受験状況』より。



2020年度入試以降、 実質倍率1倍台の募集単位も目立つ

国公立大の後期日程の実質倍率の変化をみると、欠席率が大きく上昇した2020年度入試を境に、1倍台の募集単位が多くなっている。依然として高倍率の募集単位はあるが、後期日程までしっかりと受験校を検討することで、合格可能性を高めていきたい。

国公立大の後期日程の実質倍率の変化



* 4年連続で実質倍率のデータを収集できている1,269の募集単位を集計。



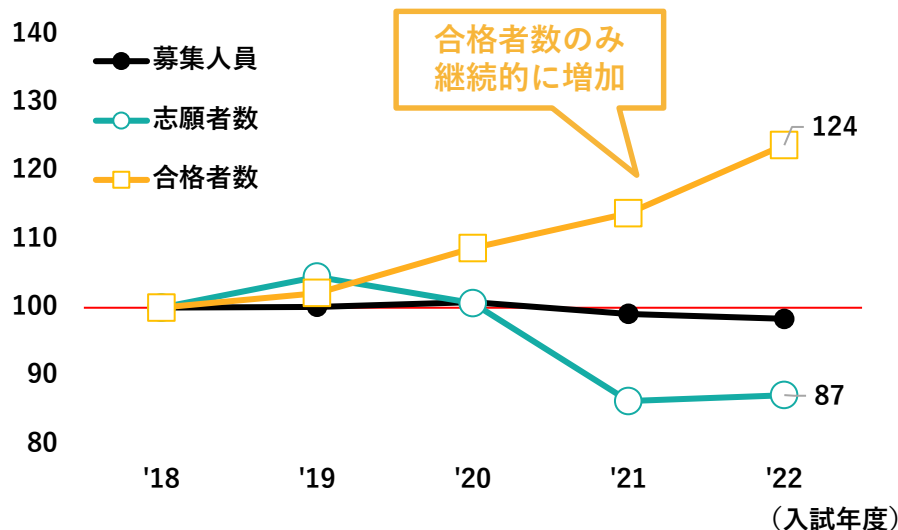
私立大全体の志願者数は下げ止まる 一方で合格者数は増加

私立大の志願者数は2020年度入試、2021年度入試と2年連続で大幅な減少が続いていたが、2022年度入試では対前年指数101と下げ止まりをみせた。一方で、合格者数は増加傾向が続き、実質倍率が低下した大学が多くみられる点も特徴的である。

入試方式別にみると、一般方式、共通テスト利用方式ともに合格者の増加と実質倍率の低下が目立っている。また、学校推薦型選抜でも同様の傾向がみられる。二次二期においては志願者数、合格者数がともに減少しており、国公立大の後期日程と同様に最後まで受験を続ける受験生は少なくなっているものと考えられる。

私立大の一般選抜の志願者数の推移

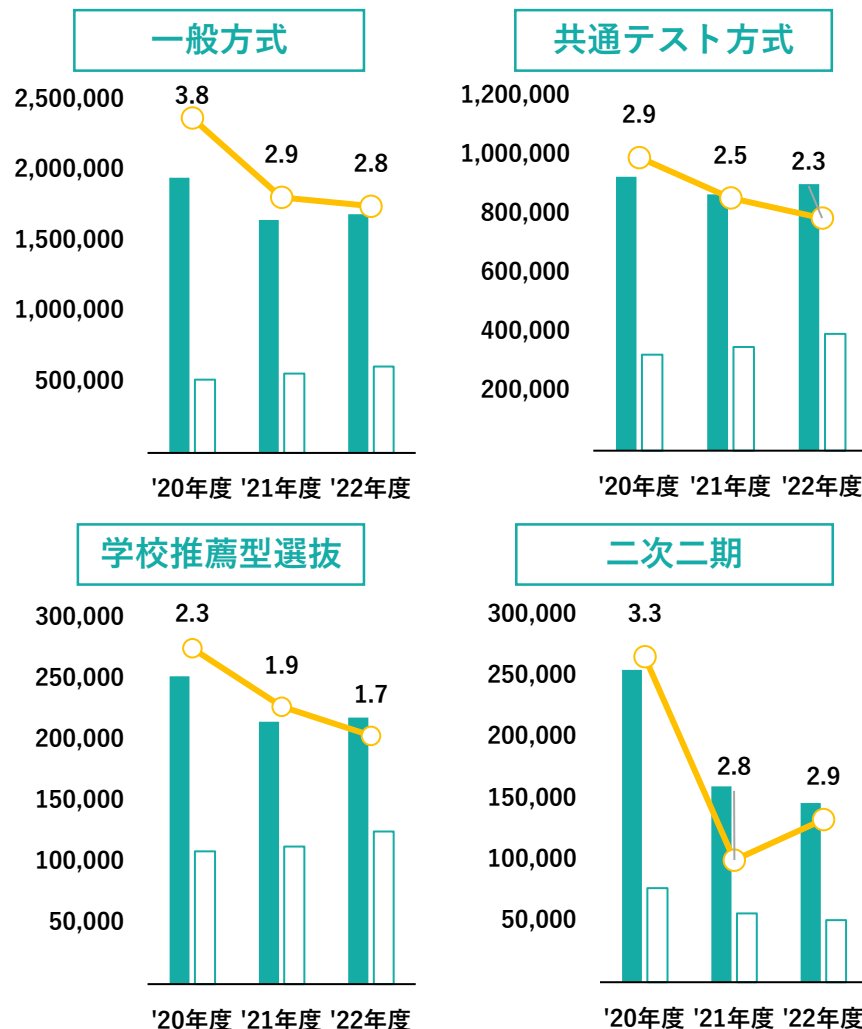
(対'18指数)



* 各年度5月中旬までに弊社で確認した情報をもとに集計。

入試方式別の受験者数の推移

■ 受験者数 ■ 合格者数 ○ 実質倍率



* 各年度5月中旬までに弊社で確認した情報をもとに集計。

* 二次二期は二次入試、二期入試、後期入試など。共通テスト利用方式を含まない。



日東駒専・文系

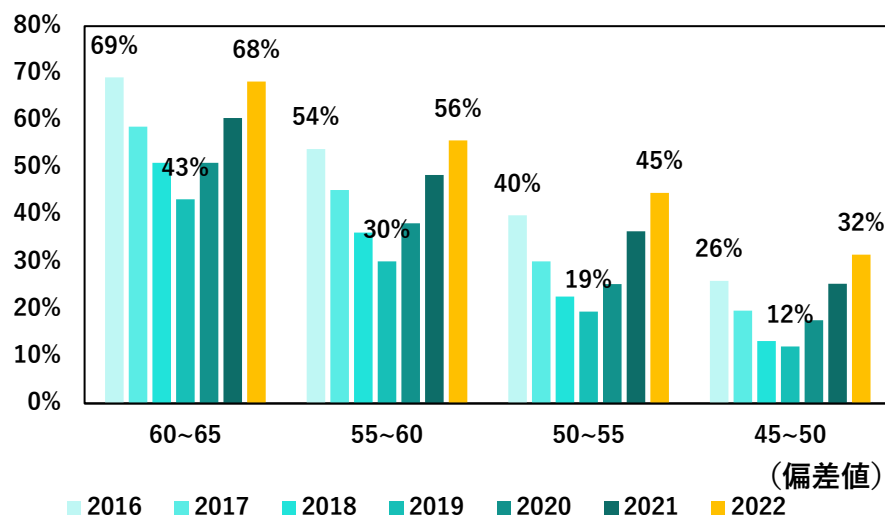
2020年度入試以降は各偏差値帯で合格率が上昇が続き

2022年度入試では入学定員の厳格化以前の水準まで戻る

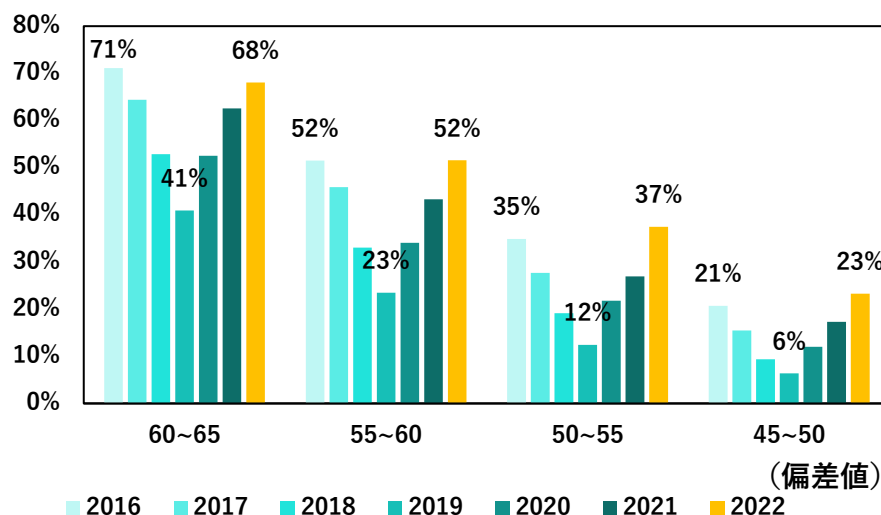
共通テスト模試の偏差値帯別に合格率をみると、日東駒専の文系学部では一般方式、共通テスト方式ともに2020年度入試以降、合格率の上昇がみられ、2022年度入試でもその傾向が継続した。多くの偏差値帯において入学定員の厳格化の影響がみられる以前の2016年度入試と同程度の合格率まで戻っている。例えば、一般方式において、偏差値50～55の受験生では、入学定員の厳格化の影響が強くみられた2019年度入試では合格率が19%であったのに対し、2022年度入試では45%と大幅な上昇がみられる。

偏差値帯別の合格率

(合格率) 日東駒専 (文系) 一般方式



(合格率) 日東駒専 (文系) 共通テスト方式



* 共通テスト模試 (6月・9月実施) 総合集計合否度数分布。

* 日東駒専は日本大、東洋大、駒澤大、専修大。



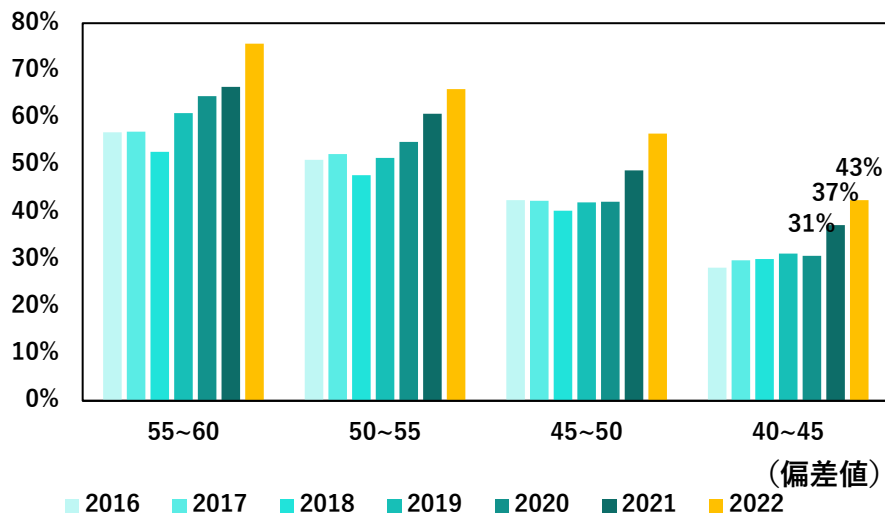
日東駒専・理系

特に一般方式で合格率の上昇が続く

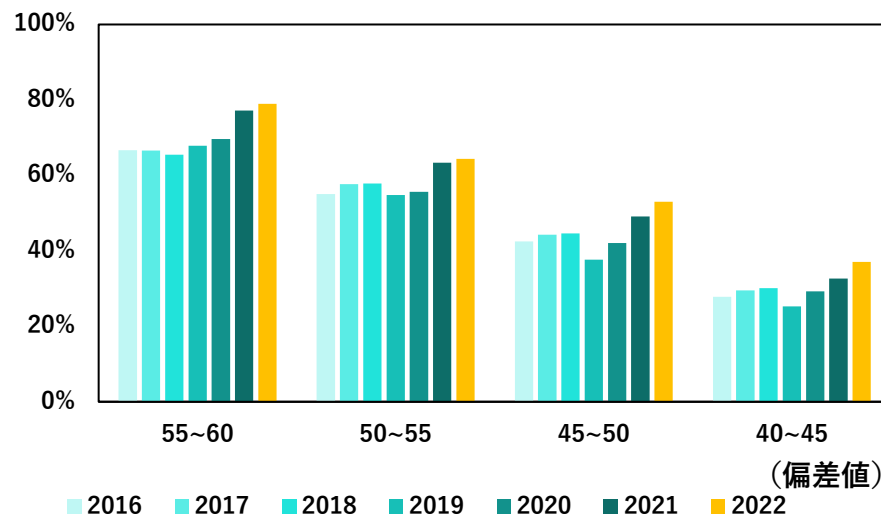
共通テスト模試の偏差値帯別に合格率をみると、日東駒専の理系学部では合格率の上昇傾向が続いており、特に一般方式で顕著である。例えば、一般方式において、偏差値40～45の受験生の合格率が2020年度の31%、2021年度の37%、2022年度の43%と上昇してきている。

偏差値帯別の合格率

(合格率) 日東駒専 (理系) 一般方式



(合格率) 日東駒専 (理系) 共通テスト方式



* 共通テスト模試 (6月・9月実施) 総合集計合否度数分布。

* 日東駒専は日本大、東洋大、駒澤大、専修大。

【高校】 100人に1人・・・
 【大学】 8人に1人・・・
 【就職】 4人に1人・・・
 【社会】 3人に1人・・・

2000

2020

2040

2060

2080

2100

政治・経済情勢

11 現行指導要領告示

17 次期指導要領告示
日本の出生数
100万割れ

20 東京オリンピック

30 生涯未婚率
男性3割突破

40 世界人口 90億

50 50 50
日本の出生数50万割れ
中国の65歳以上人口3億
日本の人口1億割れ
日本のGDP 8位に後退60 日本の高齢化率
40%超00 00
日本の人口4200万
世界人口100億

パクスアメリカナ

米中+印

アジアの時代

アフリカの時代？

2000年生まれの
子どもの11.3%は
22世紀まで存命。

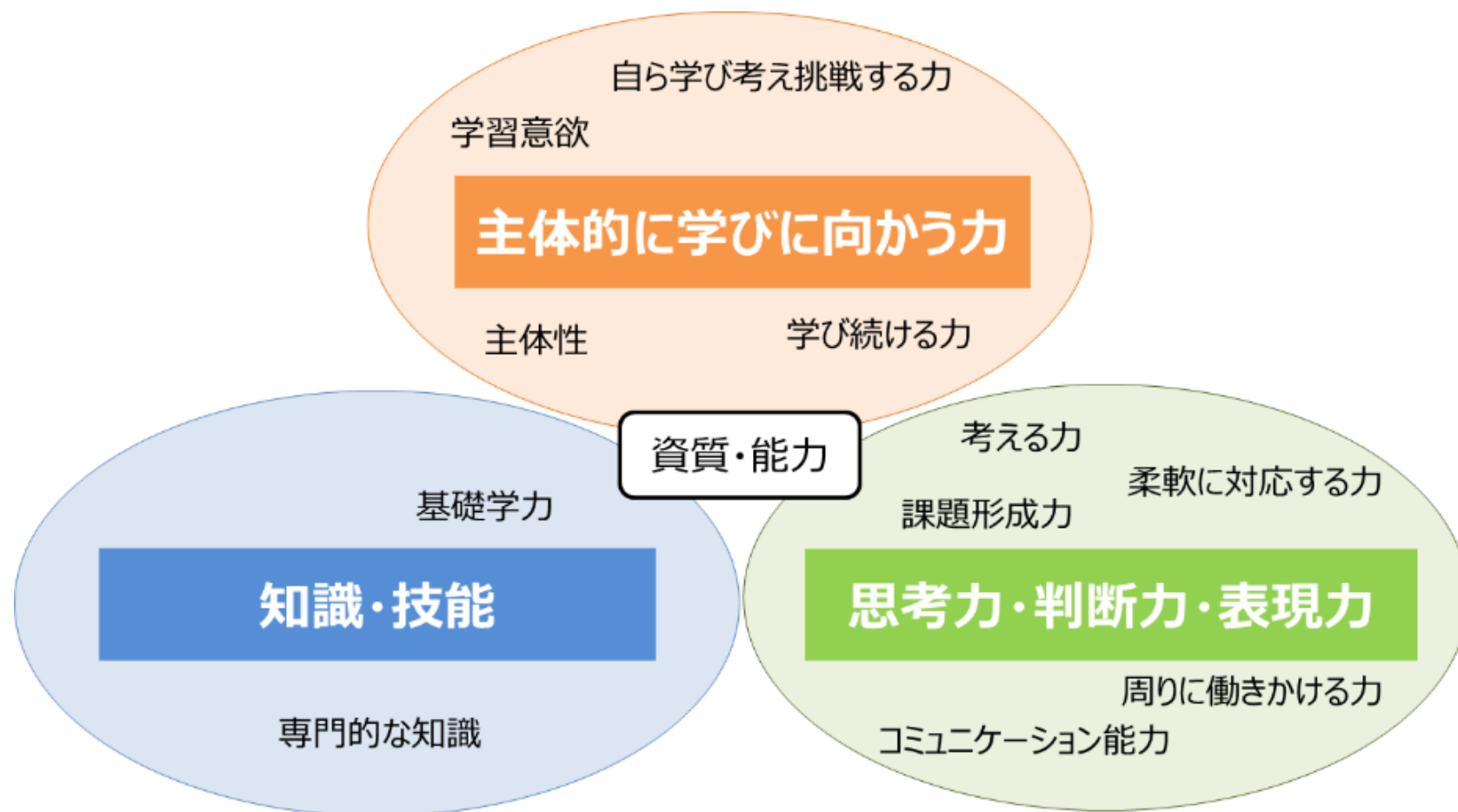
テクノロジー

14 14
4K放送開始
スマホ率7割20 エイズ予防
ワクチン開発27 リニア開通
35 北海道新幹線
35 火星有人飛行40 50
人工知能が
人間を超える
「特異点」生産年齢人口＝生産力の法
則が続くなら、現高校生（98
～00年生）はアジアの時代の
終わりに40・50代で直面

Vs.グローバル人材

Vs.コンピュータ





before

結果＝正解有

いい大学に入るため

将来の安定≡就職≡お金
ステータス≡大学名

now

過程＝正解無

自分を高めるため

何がしたいか
どんな環境にいたいか

“どこで” したいか < “何を” したいか

国公立大学

一般選拔型

『共通テスト』+ 大学の個別試験／前期・後期・中期（一部）チャンスは最大3回

学校推薦型選抜

総合型選抜

私立大学

一般選拔型

大学ごとに出願し個別試験を受験。入試タイプも多様になるが、大学に受験しに行く必要がある。

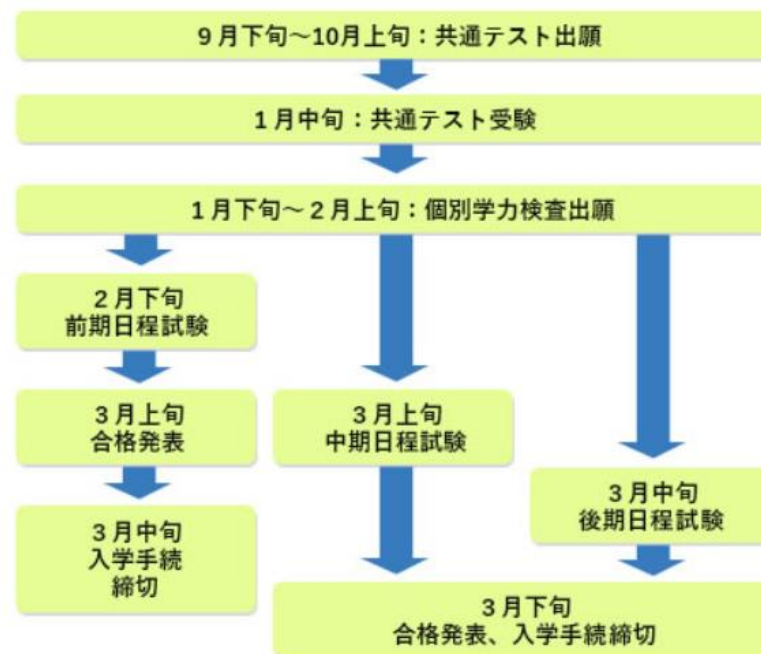
共通テスト利用

『共通テスト』の結果で合否が決まる／何校でも出願可能

学校推薦型選抜

総合型選抜

	教科	科目	時間	配点
1 目 目	地理歴史・公民	世界史A、世界史B、 日本史A、日本史B、 地理A、地理B、現代社会、 倫理、政治・経済 「倫理、政治・経済」※	2科目選択 9:30～11:40	2科目選択 200点
			1科目選択 10:40～11:40	1科目選択 100点
	国語	国語	13:00～14:20	200点
2 目 目	外国語	英語、ドイツ語、 フランス語、中国語、 韓国語	リーディング (英語) 筆記 (その他言語) 15:10～16:30	『英語』 リーディング 100点 リスニング 100点
			リスニング (英語のみ) 17:10～18:10	※その他言語 筆記 200点
	理科(1) ※※	物理基礎、化学基礎、 生物基礎、地学基礎	9:30～10:30	100点
	数学(1)	数学Ⅰ、数学Ⅰ・数学A	11:20～12:30	100点
	数学(2)	数学Ⅱ、数学Ⅱ・数学B、 簿記・会計、 情報関係基礎	13:50～14:50	100点
	理科(2)	物理、化学、生物、地学	2科目選択 15:40～17:50	2科目選択 200点
			1科目選択 16:50～17:50	1科目選択 100点



令和6年度の共通テストは1月14日（土）・15日（日）の予定

教科	グループ	出題科目	試験時間
国語		『国語』	90 分
地理歴史		『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『地理総合、歴史総合、公共』	1科目選択 60 分 2科目選択 130 分 (うち解答時間 120 分)
公民		『公共、倫理』、『公共、政治・経済』、『地理総合、歴史総合、公共』(再掲)	
数学	①	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』	70 分
	②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』	70 分
理科		『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』	1科目選択 60 分 2科目選択 130 分 (うち解答時間 120 分)
外国語		『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』 ※『英語』については、ICプレーヤーを使用する試験も実施。	80 分 【ICプレーヤーを使用する試験】 60 分 (うち解答時間 30 分)
情報		『情報Ⅰ』	60 分

現行の80分から10分延長

出題範囲に数学Cが含まれ、
選択回答数が2から3へ増加
試験時間も現行の60分から
10分延長

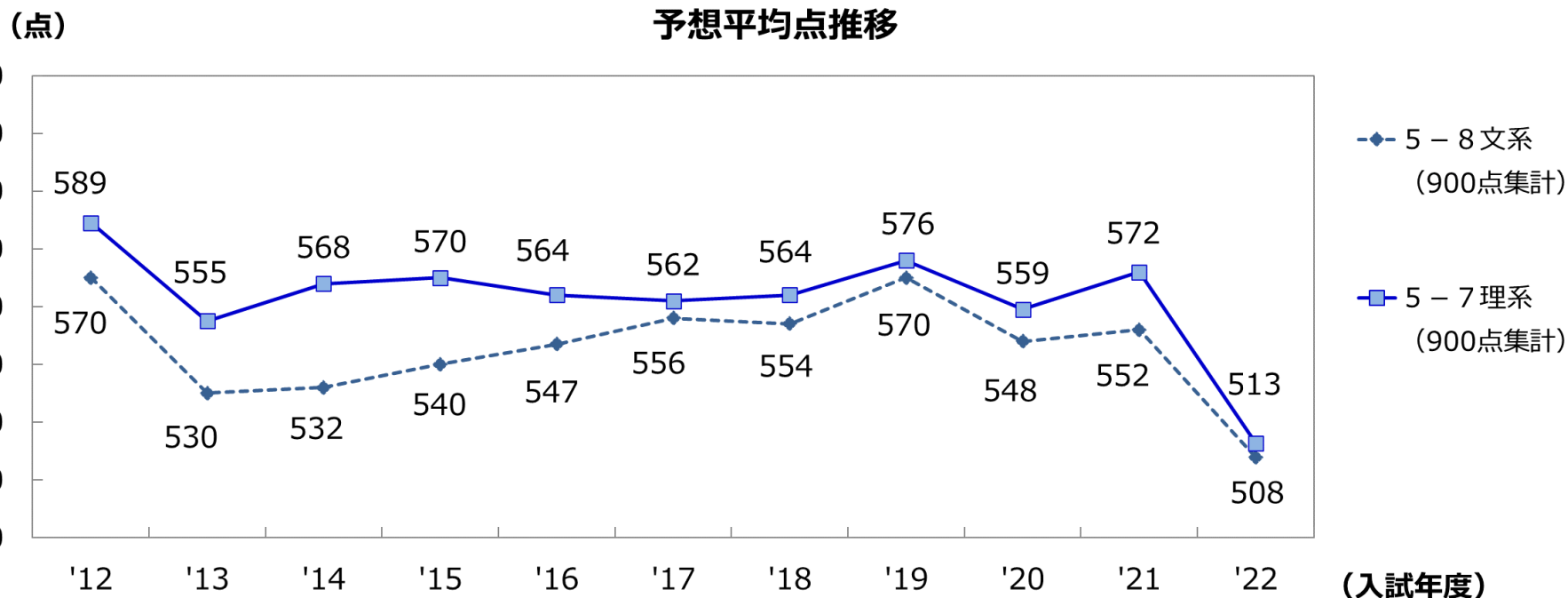
※「令和7年度大学入学選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告（補遺）」について（通知）（2021年9月29日）より

教科情報など、新しい試験科目が加わるのが注目されてはいるが、心配無用！
むしろ高1、高2ともに、今、意識したいことは・・・

- ①2日間、およそ9時～18時まで試験を受け続けることができる体力
- ②緊張した状態でも結果が出せるようにするために訓練

共通テスト 900点満点 予想平均点

■ 5 - 8 文系	508点	(対前年 -44点)
■ 5 - 7 理系	513点	(対前年 -59点)



* データネット最終集計値を基に、データネット実行委員会で推定した900点満点での平均点

* 対前年は前年度の予想平均点（得点調整反映後）との比較

16 共通テスト 科目別予想平均点と前年差

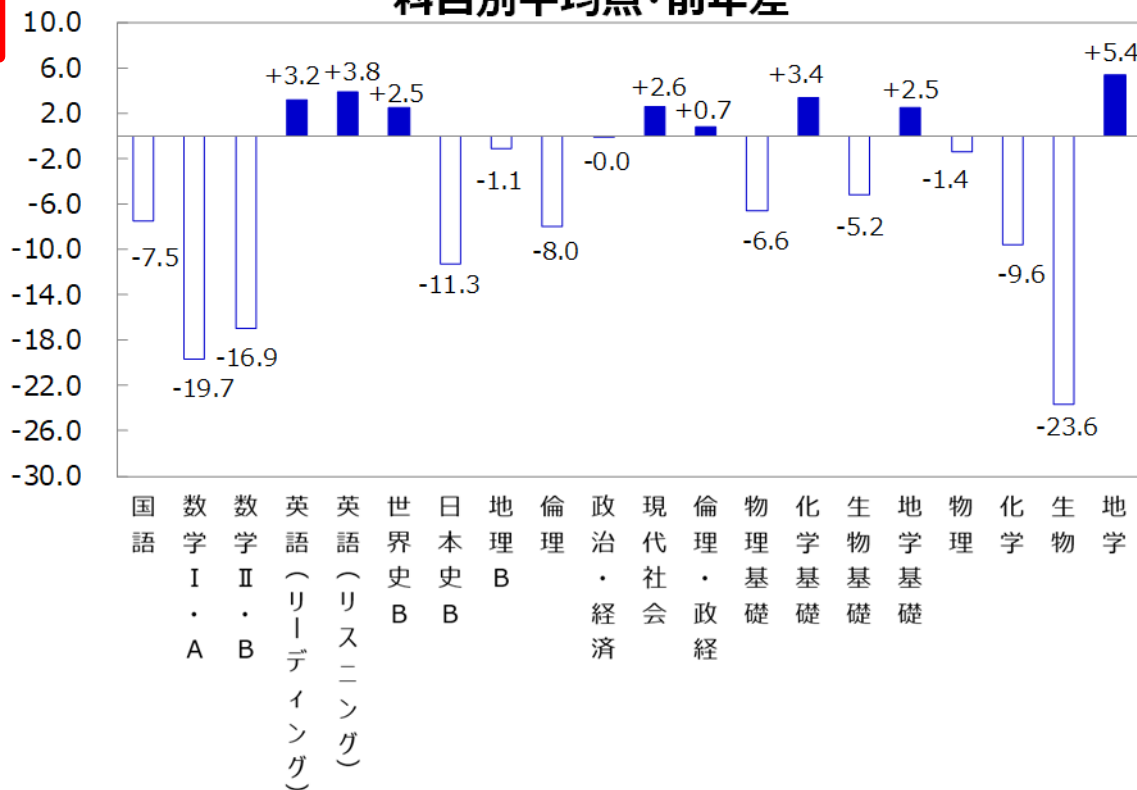


* 平均点はデータネット実行委員会による予想値

* 前年差は2022年度データネット予想値と2021年度最終発表値（得点調整反映後）との差

		平均点	前年差
国 語		110	-7.5
数 学	数学Ⅰ・A	38	-19.7
	数学Ⅱ・B	43	-16.9
英 語	リーディング	62	+3.2
	リスニング	60	+3.8
地 歴 ・ 公 民	世界史B	66	+2.5
	日本史B	53	-11.3
	地理B	59	-1.1
	倫理	64	-8.0
	政治・経済	57	-0.0
	現代社会	61	+2.6
	倫理・政経	70	+0.7
	物理基礎	31	-6.6
理 科	化学基礎	28	+3.4
	生物基礎	24	-5.2
	地学基礎	36	+2.5
	物理	61	-1.4
	化学	48	-9.6
	生物	49	-23.6
	地学	52	+5.4

科目別平均点・前年差



数学ⅠA/数学ⅡB/生物で平均点が大きく低下
その他多くの教科はおおむね55%～60%の平均点

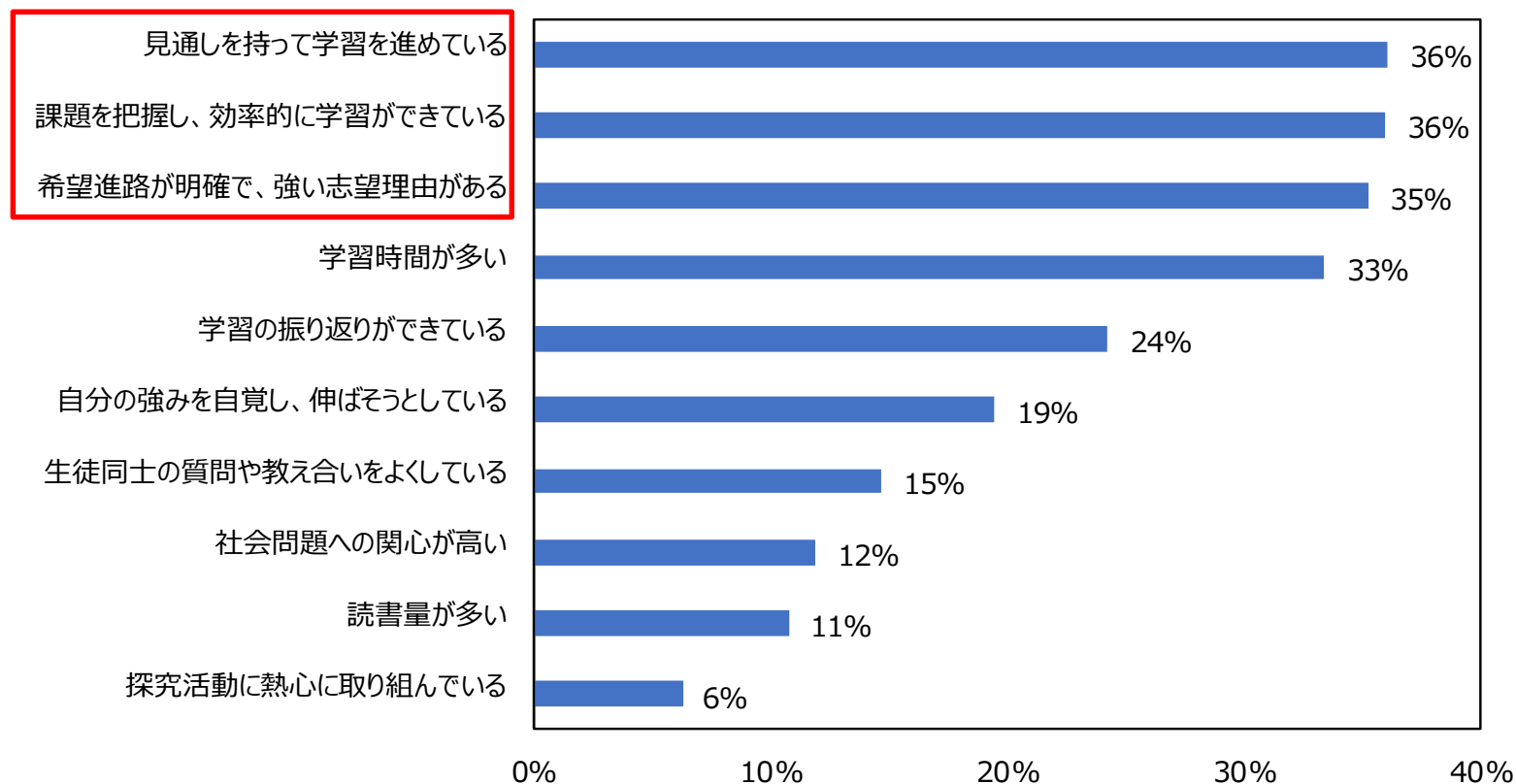
科目	出題の特徴	これからの学習ポイント
国語	—複数テキストを比較・関連付ける応用的思考力を問う設問が出題— 本文の分量は、ほぼ昨年並。設問数は変更がなく、解答数は減少。第1問では<u>生徒の作成したメモを用いて2つの文章を比較・統合する出題</u>が、第3問では<u>同じ場面を描いた別ジャンルの文章を比較する出題</u>がなされた。昨年以上に、複数の文章や資料を関連付ける力が求められ、やや難化。	■生徒の学習過程を想定した設問や、複数テキストを比較・統合しながら応用的思考力を問う設問が出題される。本文の構成や展開を的確にとらえ、論旨や内容を正確に読み取る力に加えて、複数の文章や資料の共通点や相違点をとらえたり、抽象化してまとめたりする力が求められる。<u>文章の表面的な読解にとどまらず、その根底にあるテーマや、書かれた背景にまで着目して、深く考える力</u>を身につけよう。
数学 I・A	—第1問で三角比の表、第2問でグラフ表示ソフトの問題が出題— 第1問[2]は現実事象において、三角比の表を利用する問題、第2問[1]は対話の場面やグラフ表示ソフトを用いるなど、学習場面を想定した問題であった。選択肢の問題は8～10問(解答数12～16)で、昨年より3～4ページ少なかった。導入部分から解法の方針が立てにくい問題が多く、昨年より難化。	■現実事象の問題や、対話形式の問題は、従来のセンター試験に比べると1題あたりの問題文が長い傾向がある。<u>問題文をじっくり読んでいて時間切れになってしまう可能性があるため、必要な情報を素早く取舍選択すること</u>などを意識した演習を積んでおこう。 ■問題の分量が多いため、まず最初は70分以上かかってもよいので、自力で解ききれるように過去の共通テストの解き直しを行おう。その後、少しずつ時間内に終わらせるよう、時間配分や効率的な計算を意識した演習を積もう。
数学 II・B	—「図形と方程式」や現実事象を扱う問題(数列)が出題された— 第1問[1]において「図形と方程式」の出題があった。<u>第4問「数列」では、現実事象を扱った対話文を含む問題</u>が、<u>第5問「ベクトル」では、対話文をもとに考察を進めていく平面ベクトルの問題が出題</u>された。全体を通して幅広い知識の活用が求められ、難易は昨年より難化。	■現実事象を題材とした第4問のように、今後も文章量が多い問題が出題される可能性がある。対話文をヒントにするのはもちろん、「～より」「～に注意する」などの語句にも着目し、誘導に従いながら解き進めるようにしよう。 ■<u>見慣れない問題を解く際は、値を代入した結果の推測や、条件の読み替えなど、自分の知っている知識との結びつけが重要になる。焦らずに、どの知識を用いればよいか、どこに着目すれば選択肢を消去できるかなどを考え、見通しを立てて解き進める</u>ようにしよう。
英語R	—昨年同様、様々な場面や状況に応じた題材が取り上げられた— 題材は昨年同様、日常的な文章や説明文など様々なものが扱われた。<u>設問では記述内容の順序を問うものや、プレゼンテーションを完成させるものなどが出題</u>され、昨年同様に多面的に情報を処理することが求められた。読解量はやや増加したものの、難易は昨年並。	■内容や場面が工夫された素材が出題され、多面的なリーディング能力が問われている。<u>「複数の情報を処理する力」や「文章の論理展開を把握する力」</u>などを意識して伸ばしていこう。 ■昨年から読解する英文量が増加しているため、<u>日頃から多種多様な英文素材を短時間で読解する練習</u>をしていこう。さらに、<u>複数の英文と図表の内容を組み合わせるといった情報処理をすばやく行う</u>ような学習をしておこう。
英語L	—イラスト並べ替え問題が出題されたが、その他の大きな変更なし— 昨年に続き、<u>音声情報とイラストやグラフなどの視覚情報を組み合わせて答える問題が出題</u>された。場面に応じた聞き取りを要する実践的な英語力が問われた。<u>長めの講義全体を理解する必要がある問題や、放送文からの言い換えに注意が必要な問題もみられた</u>が、全体的に取り組みやすく、昨年よりやや易化。	■音声情報の表面的な理解にとどまらず、具体的な状況やイメージを頭の中で思い浮かべられるかがポイントであった。話し手の意図や場面を意識しながら、音声を聞く練習を積もう。 ■今後も、<u>音声情報と図表などの視覚情報をもとに解答したり、複数の情報を整理・判断したりする</u>など、<u>多面的に情報を処理することが求められる</u>と予想される。重要な情報を逃さずに聞き取ることができるよう、メモを活用して短時間で情報を整理する練習を積むとよいだろう。

～時間が足りない、情報量が多い、思考力が問われる～

- 難しいと感じたものもあれば、簡単かなと思うものもあった。**思考力が問われているだけあって、時間が足りなかった。**
- 全体的に**見直す時間が全然取れず、時間いっぱいになってしまう**ような感じでした。
- 全体を通して言えるのは、**情報量が多い**ということ。意外に見落とした部分などがあった。**限られた時間内にいかに速く正確に読みとれるかで差が出た**と思います。
- **文章がどの科目も長く**、文章の速読も求められていると感じた。
- 問題文を**最後まで読まなければ把握できない**ものが多かった。また英語は**複数の文章を照らし合わせないとわからない**ものがそこそこあって面倒だった...

※進研ゼミ高校講座 高3会員向けアンケート結果より

共通テストで想定していたよりも高得点がとれた生徒の特徴



N=939

※教育・入試改革対応に関する調査（2021年3月実施）より

「見通しを持った学習」、「志望理由」は高得点のカギ！

【入試問題の出題構成】

基礎問題＝40～50%

応用問題＝20～30%

難 問＝20～30%

【教科書・授業の中から出題される割合】

大学入学共通テスト＝100%

4年制大入試の大半＝80%以上

【～大学入試センターHPより抜粋～】

大学入学共通テストは、大学（専門職大学，短期大学，専門職短期大学を含む。以下同じ。）への入学志願者を対象に、高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、大学教育を受けるために必要な能力について把握することを目的としている。

※「令和3年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト問題作成方針」より抜粋

【～大学案内より抜粋～】

◆入試のためには中学校・高等学校の教科書を忠実に勉強することが最も大切です。

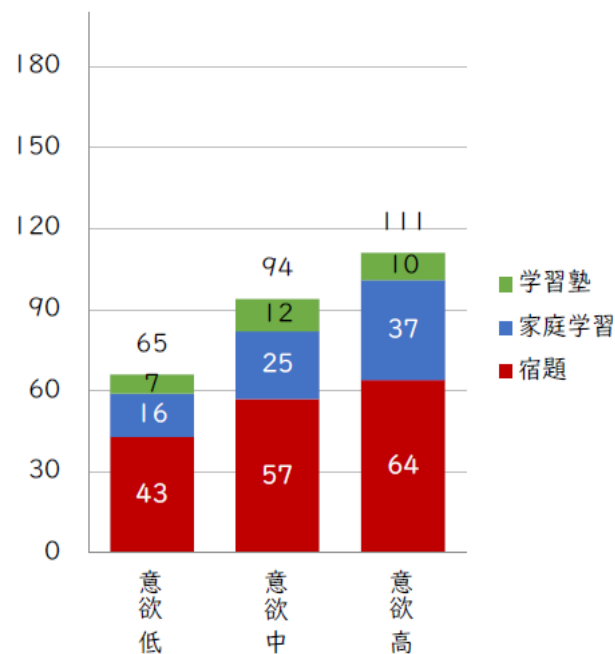
英語のいろいろな文型や表現に慣れるために、教科書を暗記するほどに学んでください。

◆入試問題は標準的な良問で構成されています。

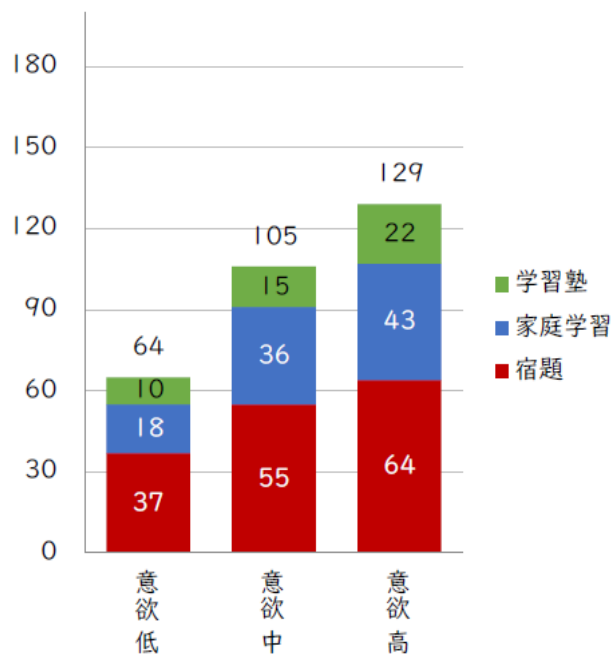
そのため、むしろ教科書をしっかり勉強することが大切だといえます。 ⇒ **大学**

高校2年生の終わりまでに 自分で考えて学習ができるようにしたい

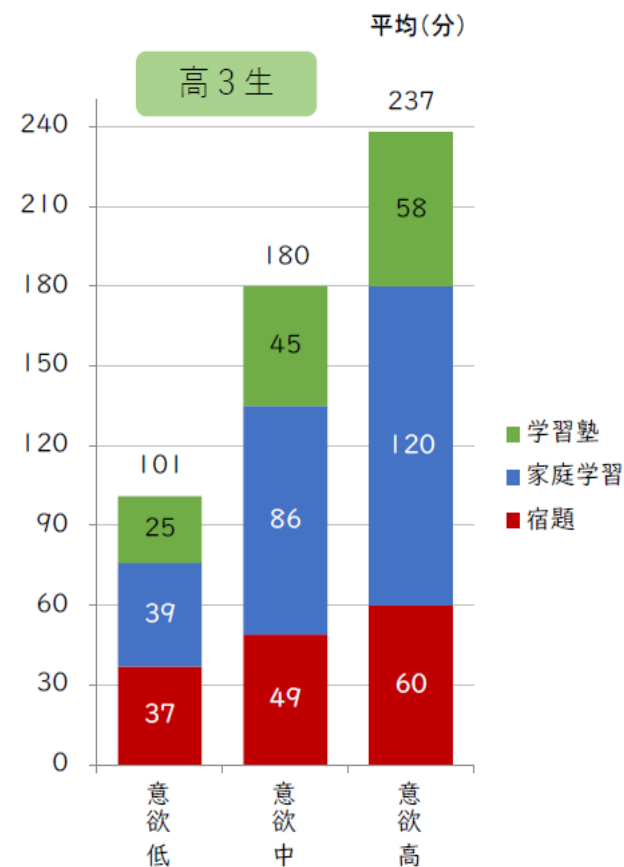
高1生



高2生



高3生



※学習意欲の「低・中・高」について・・・学習の動機づけとなる4項目（「友達に負けたくないから」「自分の希望する大学に進みたいから」「将来なりたい職業につきたいから」「新しいことを知るのが嬉しいから」）について、「とてもあてはまる～まったくあてはまらない」を4点～1点として合計。
その上で、学年ごとに人数が均等になるように、学習意欲の「低・中・高」に分類した。

※スタディーサポート2年1回のα・β・Θ、同一・新作全タイプ全国受験者データより

「勉強はするが成績が伸びない」と感じる2年生が増加
塾に通っている生徒の割合はコロナ前と比較すると大幅に増加

『わかる』から『できる』ために

①引き出しをつくる
(読む・聞く)

インプット



②問題を正しく読む



③解き方を考える



④“伝わる”答案を書く

アウトプット

学習観とは、学習に対する考え方や価値観のことである。

出典:ベネッセ教育総合研究所

非認知主義的学習観	認知主義的学習観
練習量志向 学習はたくさん覚えたり、練習したりすればよいという考え方。	方略志向 勉強のやり方や、自分に合った勉強方法を工夫することを重視する考え方。
丸暗記志向 学習内容を暗記すればよいという考え方。	意味理解志向 学習内容の意味を考えたり、解き方や考え方を確かめながら学習を進める考え方。
結果重視志向 「とにかくテストの点数がよければいい」「結果さえよければいい」という考え方。	思考過程重視志向 結果がよくても悪くても、その理由を考えることが大切であるという考え方。
他者依存志向 分からない時、自分で考えるより、すぐ周りの人や、塾などに頼ればよいという考え方。	失敗活用志向 間違えることで、理解不足に気づき、よりよく分かるようになるという考え方。

NGな学習スタイル・学習観

- ・ **受け身**の学習姿勢
- ・ **場当たり的**な学習
- ・ **丸暗記**や**テクニック**重視
- ・ ドリルなど**練習量**を重視
- ・ 分からないとすぐ**正解**を求める
- ・ 勉強の**“環境”**を重視

望ましい学習スタイル・学習観

- ・ **自立的**な学習姿勢
- ・ **計画的**な学習
- ・ **意味理解**や**思考過程**を重視
- ・ 効果的な**学習方法**の追求
- ・ 分からなくても**自分の頭で考える**
- ・ 自分の**“行動”**が全てと考える

・勉強を取捨選択した。高校2年時から国語と地理を授業で触れず、授業も内職したり、居眠りすることが幾度もあった。国語と地理を捨てた私には変化があった。数学を勉強していると、「この問題は多分試験に出ないから大丈夫だろう」や「英作文は出ないから書かなくていいや」と自己判断でどんどん切ってしまうようになった。そんな私の学力は一向に上がらず、むしろ下がってしまった。

・私は高校生になりスマホを持った。家に帰り一人になっても多くの動画視聴アプリがあり、またインターネットを通し様々な人と関わることができる。私はその欲求に抗うことはできなかった。というより、抵抗しようとしなかった。

・塾と学校の両立ができておらず、塾を優先していた。塾から帰ってくると夜遅く、学校の予習・復習をせずに寝てしまうことがよくあった。塾に通えばなんとかなると思っていたところがあったが、今思い返してみると受かった友達は皆学校の授業や予習・復習を大切にしていた。

・実力はないが精神は強い方で常にポジティブシンキングなのが長所であると自負していた私は、「なんとかなる」を合言葉に勉強を続けていた。「プラス思考は良いことだ」と学校の先生も言っていたからだ。だが私はプラス思考すぎて人生を楽観視していた。模試の結果が悪くても落ち込んだことなどなく、緊張感を感じたことも一度もなかった。そして迎えた受験当日。全部暗記することができなかった単語帳を手会場へ向かうこととなった。

お子様の学年が進むにつれて、ちゃんと勉強しているのか、成績が上がっているのか...など保護者の皆様も心配が付きないと思います。しかしお子様も18歳に近づいています。受験期は親子の“コミュニケーション”が希薄になったり、少しまちがった方向に進んでしまうことも。是非1人の大人として、見守りながら伴走してあげることが重要なんだと思います。

～おすすめのほどよいおせっかい～

- ◆こどもが自発的に話はじめたときは、最後まで話をきいてあげる。共感する。
- ◆直接的な言葉以外で応援してあげる。
- ◆偏差値ではなく、なぜその大学や進路を目指すのかをきいてみる。共感する。
- ◆規則正しく、健康的な生活が送れるようなサポート。



大学受験に必要なお金 ※私立医・歯・薬学系統はさらにかかる傾向

		国公立大学		私立大学文系		私立大学理系	
		自宅生	下宿生	自宅生	下宿生	自宅生	下宿生
受験期		203,600円	231,400円	256,500円	263,300円	247,400円	288,900円
合格～入学まで		1,829,800円	2,350,500円	1,986,100円	2,500,300円	2,182,100円	2,730,100円
入学～卒業まで	学費(4年間)	1,878,800円	1,877,400円	3,317,175円	3,312,075円	4,553,262円	4,563,562円
	生活費(4年間)	3,171,840円	6,196,320円	3,171,840円	6,196,320円	3,171,840円	6,196,320円
	生活費以外(4年間)	1,652,800円	1,685,600円	1,652,800円	1,685,600円	1,652,800円	1,685,600円
合 計		8,736,840円	12,341,220円	10,384,415円	13,957,595円	11,807,402円	15,464,482円

※「受験」にかかる費用

国立大学 1 校 + 私立大学 3 校受験の場合

受験料・
検定料

約 14 万円

交通費・
宿泊費など

約 7～11 万円

■ 検定料・受験料の目安 受験料の割引・減免制度を利用すれば、費用の軽減も可能。

センター試験(3教科以上受験)	1万8000円*1
センター試験(2教科以下受験)	1万2000円*1
国公立大学個別(2次)試験	1万7000円*2
私立大学(医・歯学部を除く一般入試)	3万～3万5000円
私立大学(医・歯学部一般入試)	4万～6万円
私立大学(センター試験利用入試)	1万～3万円
私立大学(医・歯学部を除く推薦入試・AO入試)	3万～3万5000円

*1 大学入試センター「令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験実施要項」

*2 文部科学省「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」
それ以外は進研アド2019年度調べ

受験校が増えるほど費用の負担も増える。
出願するつもり大学・学部が納得して通えるか、
入試の日程に無理がないかなどの確認は重要。

出典：マナビジョンブック2020「保護者版」より抜粋

©Benesse Corporation.

卒業までにかかる学費 ※初年度分(入学金以外)を含む

	国立大学*1	私立大学*2(文系)	私立大学*2(理系)	私立大学*2(医・歯学部)
授業料(年額)	53万5800円	78万5581円	110万5616円	286万7802円
施設・設備費*3(年額)	—	15万1344円	18万5038円	88万1509円
年間合計	53万5800円	93万6925円	129万654円	374万9311円
在学年数	×4年			×6年
合 計	214万3200円	374万7700円	516万2616円	2249万5866円

卒業までに必要な学費は、学部によって約10倍の差になることも。

*1 文部科学省「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」

*2 文部科学省「平成30年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額(定員1人当たり)の調査結果について」。

私立大学昼間部の平均額。

*3 私立大学は授業料、施設・設備費のほか、実習費、諸経費なども徴収される場合がある。
※ここでは単純に4倍または6倍としているが、大学・学部によっては学年が上がるにつれて授業料、施設・設備費などが上がる場合もある。

大学生の1か月の生活費(全国平均)

	内 訳	自宅生	下宿生
収入	小遣い・仕送り	1万3480円	7万2810円
	奨学金	1万620円	2万900円
	アルバイト	4万1230円	3万3600円
	定職	300円	370円
	その他	1840円	2180円
	収入合計	6万7480円	12万9860円

※各項目および合計はそれぞれの平均値のため、内訳の合計が収入・支出の合計と一致しない場合もあります。大学生協(全国大学生協連)2019年調べ

	内 訳	自宅生	下宿生
支出	食費	1万3850円	2万6390円
	住居費	150円	5万3930円
	交通費	8160円	4070円
	教養娯楽費	1万2990円	1万2870円
	書籍費	1620円	1860円
	勉学費	1270円	1900円
	日常費	6160円	7620円
	電話代	1780円	3550円
	その他	3220円	3430円
	貯金・繰越	1万6880円	1万3470円
	支出合計	6万6080円	12万9090円

毎月の住居費が下宿生の大きな出費となっている。

下宿生の毎月の生活費は自宅生の2倍ほど必要。

生活費以外にかかった費用の一例 (2019年4~9月の有額平均値)

内 訳	自宅生	下宿生
合宿代	4万6900円	4万7100円
国内旅行	5万5100円	5万8000円
海外旅行	14万8200円	13万8200円
帰省代	2万2600円	2万7100円
留学	34万3900円	31万8700円
運転免許	25万2800円	25万2900円
各種スクール	13万1100円	13万4600円
耐久消費財	8万2300円	8万6500円
衣料品	3万3000円	3万1300円
引っ越し	5万4000円	8万4000円
就職活動	4万1000円	4万8300円
その他	7万9200円	6万5800円
半年間の合計の平均	20万6600円	21万700円

※各項目および半年間の合計の平均額はそれぞれの有額平均値のため一致しません。大学生協(全国大学生協連)2019年調べ

多くの大学生が希望する運転免許の取得。費用は誰が負担するのか事前の確認が大切。

学費と生活費のほか、留学費用や就職活動費用なども考慮が必要。